

教科	算数	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. かけ算	乗法に関して成り立つ性質やきまりを理解し、それらを活用して被乗数や乗数が0や10の乗法計算をすることができる。	乗法に関して成り立つ性質やきまりに着目し、九九の範囲を超える乗法の計算方法を、図や式などを用いて考え、表現している。	九九の範囲を超える乗法の計算方法について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
2. 時こくと時間のもともめ方	秒について知り、他の時間の単位との関係を理解するとともに、時刻や時間を求めることができる。	時間の単位に着目し、時間を既習の量と統合的にとらえるとともに、図などを用いて時刻や時間の求め方を考え、説明している。	時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
3. わり算	除法が用いられる場合や除法と乗法などとの関係について知り、除法の意味について理解するとともに、除法計算をすることができる。	数量の関係に着目し、等分除と包含除を除法として統合してとらえるとともに、具体物や図、式を用いて計算の仕方を考え表現している。	除法の意味や計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
4. たし算とひき算の筆算	3～4位数の加減法の筆算は、2位数などの基本的な加減法の筆算の仕方を基に考えればよいことを理解し、それらの計算をすることができる。	数の構成に着目し、2～3位数の加減法の筆算の仕方を活用して3～4位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し、筆算の仕方を一般化してまとめている。	3～4位数の加減法の筆算の仕方を、既習の筆算の仕方や、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
5. 長いものの長さのはかり方と表し方	長さの単位(キロメートル(km))や測定の意味を理解し、長さについての豊かな感覚をもつとともに、それらを活用して適切に長さを単位で表したりおよその見当をつけ適切な単位や計器を選択して測定したりすることができる。	身の回りのものの長さや長さの単位に着目し、長さの測定の方法や単位の関係について説明している。	長さについての単位や計器を用いて身の回りのものの長さをはかったり、既習の単位との関係について考えたりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
6. 暗算	被減数が100の減法の暗算や2位数どうしの加減法を暗算で計算することができる。	数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して、暗算による計算の仕方を工夫して考え、説明している。	2位数どうしの加減法を暗算で計算したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
7. あまりのあるわり算	わり切れない場合の除法の計算や余りと除数の大小関係について理解し、それらを活用して数量の関係をとらえることができる。	数量の関係に着目し、わり切れる場合とわり切れない場合の除法を統合してとらえ、除法の意味や計算に成り立つ性質について考え、説明している。	日常生活の問題を解決した過程や得られた結果を吟味したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

8. 大きい数のしくみ	万の単位や1億までの整数を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1000倍、1/10にした数や、数や式の相等、大小関係を等号や不等号を用いて表す方法を理解している。	数の構成や仕組みに着目し、万の単位を用いた数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的にとらえ、説明している。	1億までの数の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
9. かけ算の筆算(1)	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。	数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3位数×1位数の筆算について考え、説明している。	2～3位数×1位数の筆算の仕方について、乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
10. 大きい数のわり算、分数とわり算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について理解し、計算することができる。</li> <li>・分数で表される場面を適切にとらえ、除法を用いて答えを求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について、既習の計算の仕方や図などを用いて、数の構成に着目して考え、説明している。</li> <li>・等分することや分数の意味に着目して、分数で表されている場面について、除法を用いて計算することを考え、説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について、具体物や図、式を関連づけたり、既習の計算の仕方などを基に考えたりしながら、その過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。</li> <li>・分数と除法の関係やもとの数と分数の関係を考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。</li> </ul>
11. 円と球	円の中心や半径、直径について、円に関連して球の直径などを理解し、それらを活用してコンパスで円をかいたり、等しい長さをはかり取ったり移したりすることができる。	円や球を構成する要素に着目し、構成の仕方や身の回りのものに図形の性質がどのように活用されているかについて考え、説明している。	円や既習の図形の作図を基に模様をかくなどの活動を通して、身の回りから円や球を見つけたり、図形のもつ美しさに関心をもったりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
12. 小数	端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解し、それらを活用して1/10の位までの小数の加減法の計算をすることができる。	数の表現や数のまとまりに着目し、小数の記数法は整数の十進位取り記数法を拡張したものにとらえ、数の大小関係や加減法の計算について考え、説明している。	小数の意味や表し方、加減法の計算の仕方について、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
13. 重さのたんいとはかり方	重さについて、単位や単位の間隔を理解し、およその見当をつけ、適切な計器を選んで測定することができる。	身の回りのものの重さやその単位に着目し、量感覚を身につけたり、単位の間隔を統合的に考え、説明したりしている。	身の回りにあるものの重さやそれらを数値化することのよさ、普遍単位の必要性を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。

14. 分数	端数部分を表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解し、それらを活用して分数の加減法の計算や1/10の位までの小数と分母が10の分数の関係について理解している。	分数は基準量を任意に等分した単位分数のいくつかを表していることに着目して、数の大きさを図に表したり、計算したりする方法を考え、説明している。	分数を用いることで、整数で表せない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表せるようになることを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
15. □を使った式	数量の関係を表す式に未知の数量を表す□を用いることを理解し、それらを活用して問題場面を式や図に表したり、式の意味を読み取って問題場面を考え、□にあてはまる数の調べ方を理解したりしている。	数量の関係や問題場面に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて読み取ったりすることを通して未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明している。	未知の数量を□を用いて表すことで、問題場面を式や図に表せることのよさを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
16. かけ算の筆算(2)	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を利用して、2～3位数×2位数の乗法を筆算で計算することができる。	数の構成や乗法について成り立ちを立つきまり、既習の2～3位数×1位数の筆算の仕方に着目し、2～3位数×2位数の筆算の仕方について考え、説明している。	2～3位数×2位数の筆算について、既習の計算方法を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
17. 三角形と角	二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて知り、それらを活用してそれぞれの図形の意味や性質、作図の方法を理解している。	図形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形の性質を考えるとともに、それらの作図の仕方について考え、説明している。	辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、身の回りのものの形を図形としてとらえたことを振り返り、図形の敷き詰めなどの活動によって模様的美しさや平面の広がりを感じ、今後の生活や学習に活用しようとしている。
18. ぼうグラフと表	日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。	目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。	データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事情について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。
そろばん	そろばんを用いた加減計算の仕方を理解し、それらを活用して簡単な加減計算をすることができる。	そろばんの仕組みや十進位取り記数法の仕組みに着目し、数の入れ方や払い方を考え、説明している。	そろばんの仕組みと十進数の仕組みを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。